

地下式給水栓資器材

○ 導入の趣旨

災害時に断水が発生した場合に、地域のみなさまが自ら操作して飲料水が確保できる施設として、原則として各市立小中学校の校門付近に、地下式給水栓を整備しています。

○ 使用想定

- ・災害時、地域で断水が発生した場合にご使用ください。なお、市立小中学校および地下式給水栓までの配水管は耐震化されておりますので、まずは小中学校の蛇口から水が出るかご確認ください。
- ・公道上に設置されている給水栓を使用する際は、車両等の通行にご注意ください。
- ・小中学校に避難された方以外の方（自宅避難者等）もご使用ください。
- ・地域の訓練等でご使用になりたい場合は、区役所又は上下水道局担当営業所へご相談ください。

○ 配備物品一覧

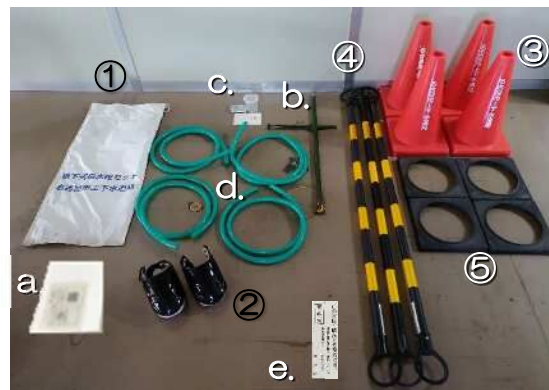
【 外観 】



【案内看板】



【開設用具】



地下式給水栓の開設用具

①地下式給水栓セット【白色袋】×1

〔a.マニュアル、b.ふた開閉器、c.簡易残塩測定具、
d.ビニルホース ×4本、e.札（簡易水質検査）〕

②つま先保護具 ×1足

③セフティコーン ×4個

④コーンバー ×3本

⑤セフティコーンおもし ×4個

開設用具の保管場所を記載

※案内看板は、地下式給水栓近くのフェンス等に設置されています。

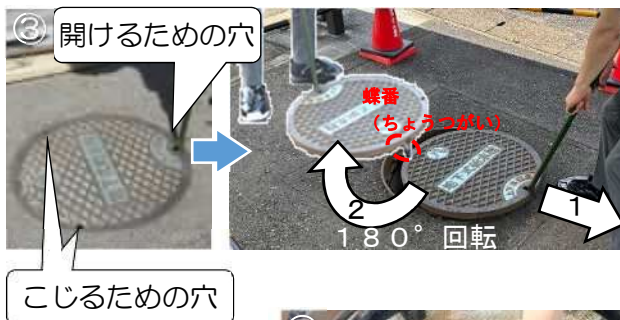
○ 使用の手順・注意点

※ 開設方法の詳細については「地下式給水栓セット【白色袋】」内にある『「地下式給水栓」操作マニュアル』をご覧ください。

- ① セフティコーンおよびコーンバーで作業スペースを確保する。
- ② つま先保護具を両足に装着する。
- ③ マンホールを開ける。

【要点】

- a) マンホールふたを浮かせるための2か所（2時、10時方向）の穴にふた開閉器の「I字部分」を差し込んで開閉器の持ち手を下に押し、ふたを軽く浮かせる。
- b) マンホールふたの6時方向にあるふたを開けるための穴にふた開閉器の「T字部分」を差し込み、(1) 自分の方向へ引っばった後、(2) ふたの蝶番（ちょうつがい）を支点に180°水平に回転させます。（ふたは重たいので（約40kg）、足の上への落下や腰を傷めないようご注意ください）。



- ④ ジャ口にかかっている袋を外し、不意の水の噴出を防ぐためにジャ口が閉まっているか確認する。

- ⑤ 横になっている緑色のハンドルを垂直に立てる。

- ⑥ ジャ口にビニルホースを差し込み、ジャ口をひねって水を出してください。（すぐに使用せず、2～3分間水を出して、水の色や濁りが無いことを確認してください。）

- ⑦ 水質検査をする。

【要点】

- a) ジャ口の水をコップにくむ。
- b) 簡易残塩測定具のチューブ先端のひもを抜き、中の空気を追い出した後、チューブの穴を水の中に入れ、水を吸い込む。
- c) チューブを取り出しよく振り10秒待った後、「標準色」と比較し、色の変化が（0.1mgCL/L以上）あることを確認する。（変化が無い場合は、2～3分間水を出し、再度測定する。）



【注意】 色の変化が0.1mgCL/L以上でなければ、衛生上安全でないため、使用は控えてください。色が濃くても問題ありません。

- ⑧ 給水準備は完了です。札（簡易水質検査）をセフティコーンに取り付けて、みなさままで緊急給水を行ってください。

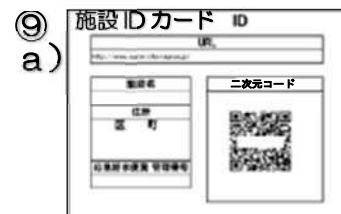
- ⑨ 指定避難所の総務班を通して、区本部に緊急給水を開始したことを報告してください。

※ 水の出が悪い場合、水が出ない場合も同じように報告してください。

- ⑩（お願い）二次元コードを利用して地下式給水栓の開設情報を登録してください。

【要点】

- a) マンホール内部または用具セット内にある施設IDカードの二次元コードをスマートフォンで読み取り、登録画面を表示する。
- b) 施設名を確認し、**開設** ボタンを選択する。
- c) 上下水道局公式ウェブサイト、該当施設の開設情報が登録されます。



発電機（カセットボンベ式発動機付発電機）

○ 導入の趣旨

大規模災害が発生した際に、停電が発生することが見込まれるため、避難所機能の維持及び安全確保、並びに災害救助地区本部や医療救護所の電源確保のために、主要な避難所である市立小中学校等へ発電機を配備しています。

○ 使用想定

- ・市立小学校には避難スペース用 1 台、災害救助地区本部用 1 台の計 2 台を、市立中学校には避難スペース用 1 台、医療救護所用 1 台の計 2 台を配備しています。
- ・投光器、デジタル移動無線などへの電力供給を想定していますが、避難スペースでは携帯電話の充電等への電力供給にも使用できます。（定格出力 900VA）
- ・避難所が開設され電源の確保が必要な場合に設置をお願いします。
- ・発電機は機器の特性上 1 年に 1 回程度の試運転をお願いします。試運転については、避難所開設・運営訓練や「避難所運営マニュアル」に基づく備蓄物資の確認といった機会を活用して実施してください。試運転を兼ねて、訓練等以外の地域の行事等に使用しても構いません。ただし、備蓄しているガスボンベは試運転の際には使用できません。

○ 配備物品一覧

【 外観 】



○サイズ
約 43×34×59cm
（横×奥行×高さ）
○重さ
約 22kg

【 中身 】



発電機

【 その他資機材 】



エンジンオイル
（缶切りもあります）



コードリール



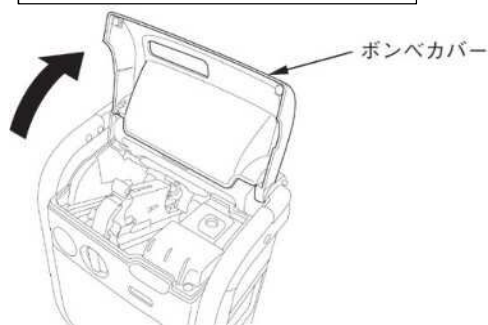
ガスボンベ
（寒冷地用も 2 本あります）

○ 使用の手順・注意点

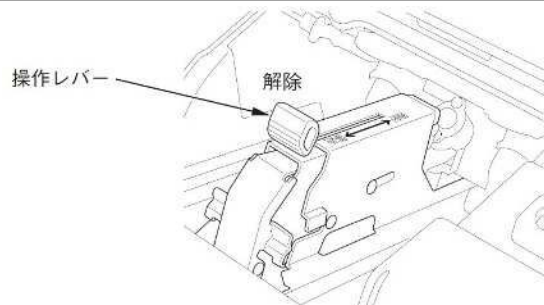
【注意】

- ・発電機は、屋内・水のかかる場所では使用できません。
- ・排気は風とおりの良い場所に向けてください。
- ・カセットボンベは、使用する前に腐食等の異常がないか確認してください。

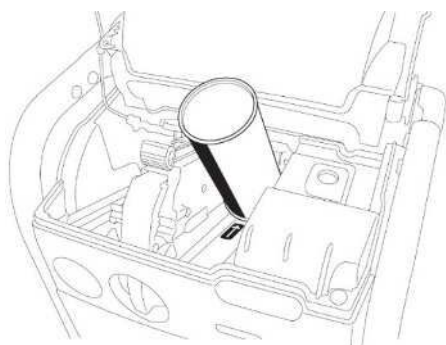
①ボンベカバーを開けます。



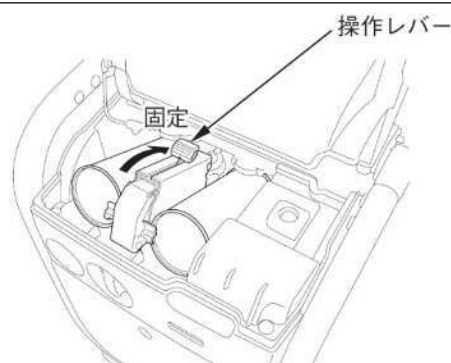
②操作レバーが解除位置にあることを確認します。



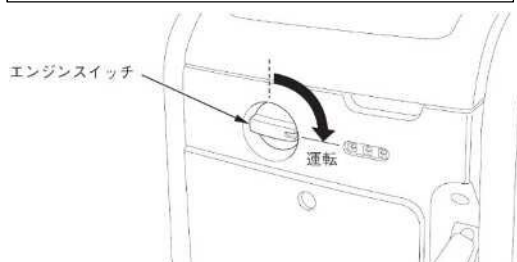
③カセットボンベをセットします。



④操作レバーを固定位置にスライドします。



⑤エンジンスイッチを運転位置に合わせます。



⑥始動グリップを引いて重くなる場所を探し、その重くなったところから勢いよくグリップを引きます。



⑦約1分間暖機運転を行います。

※ 燃料のカセットボンベは発電機をエコモードで使用した場合に、約 72 時間稼働できるように備蓄されています。

※ 使用後、長期間保管する前には、配管内のガスを完全に使い切る必要があります。配管内のガスを完全に使い切る方法として、エンジンがかかっている状態で、ガス缶を抜き取り、ガス欠でエンストさせて停止させるか、ガス缶を抜いた状態で、エンジンを始動させ、配管内のガスを使い切る方法になります。使用した際には保管前に必ずこれらの手順を行ってください。

投光器

○ 導入の趣旨

大規模災害が発生した際に、停電が発生することが見込まれるため、避難所機能の維持及び安全確保、並びに災害救助地区本部や医療救護所の明かり確保のために、主要な避難所である市立小中学校等へ投光器を配備しています。

○ 使用想定

- ・発電機と一緒に使用して、周りを照らします。
- ・市立小学校には避難スペース用 1 台、災害救助地区本部用 1 台の計 2 台を、市立中学校には避難スペース用 1 台、医療救護所用 1 台の計 2 台を配備しています。
- ・避難所が開設され灯りの確保が必要な場合に設置をお願いします。
- ・試運転を兼ねて、訓練等以外の地域の行事等に使用しても構いません。

○ 配備物品一覧

【 外観 】



○サイズ
約 55×54×61cm（横×奥行×高さ）
○重さ
約 8kg



【 中身 】



灯体

三脚



投光器組立後



○ 使用の手順・注意点

3

締付ツマミ

任意の高さで締付ツマミで固定する。
締め付けは手で行うこと。

1

三脚ベース
締付ツマミ

三脚スタンドをいっばいまで広げ、三脚ベース締付ツマミで固定する。

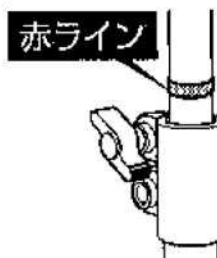
4

灯体の締付ネジで三脚スタンドに取り付ける。



2

先端パイプは抜ける構造になっているので、赤ライン以上は絶対に伸ばして使用しない。



【注意】

- 三脚スタンドを設置する場合、安定の良い平坦な場所に垂直に設置してください。
- 風の強い場合は、転倒防止のため、スタンド下部に砂袋などで倒れ止めの処置を必ず行ってください。
- 照明機器の電源ケーブルに人が引っかからないよう、ケーブルは支柱に沿って下ろし、地面を這わせてください。
- 照明器具を取り付けた状態で高さ調節を行ったり、大きく移動や運搬をしたりしないでください。

衛生用品

1 衛生用品キット

○ 導入の趣旨

避難所を開設・運営するにあたって、新型コロナウイルスなどの感染症対策として必要な衛生用品等を5種類のキットにして配備しています。

○ 使用想定

避難生活における新型コロナウイルスなどの感染症対策として使用します。各キットの具体的な使用方法是、各キット内に配備されている説明書等を参照します。

○ 配備物品一覧

【外観】



- ・受付用キット
- ・施設消毒用キット
- ・感染者緊急対応用キット

プラスチックケース



- ・避難者全員用キット①
- ・避難者全員用キット②

段ボール箱

【中身】

○受付用キット：避難所の受付開始にあたって必要なものが入っています。

			
非接触式検温器	使い捨てマスク	フェイスシールド	使い捨て手袋
			
養生テープ（赤・黄・緑）	ポリ袋	ゴミ袋（可燃・不燃・資源）	

○避難者全員用キット①・避難者全員用キット②：避難者全員が使用するものが入っています。

	
①使い捨てマスク	②手指消毒液

○施設消毒用キット：避難所の施設消毒時に必要なものが入っています

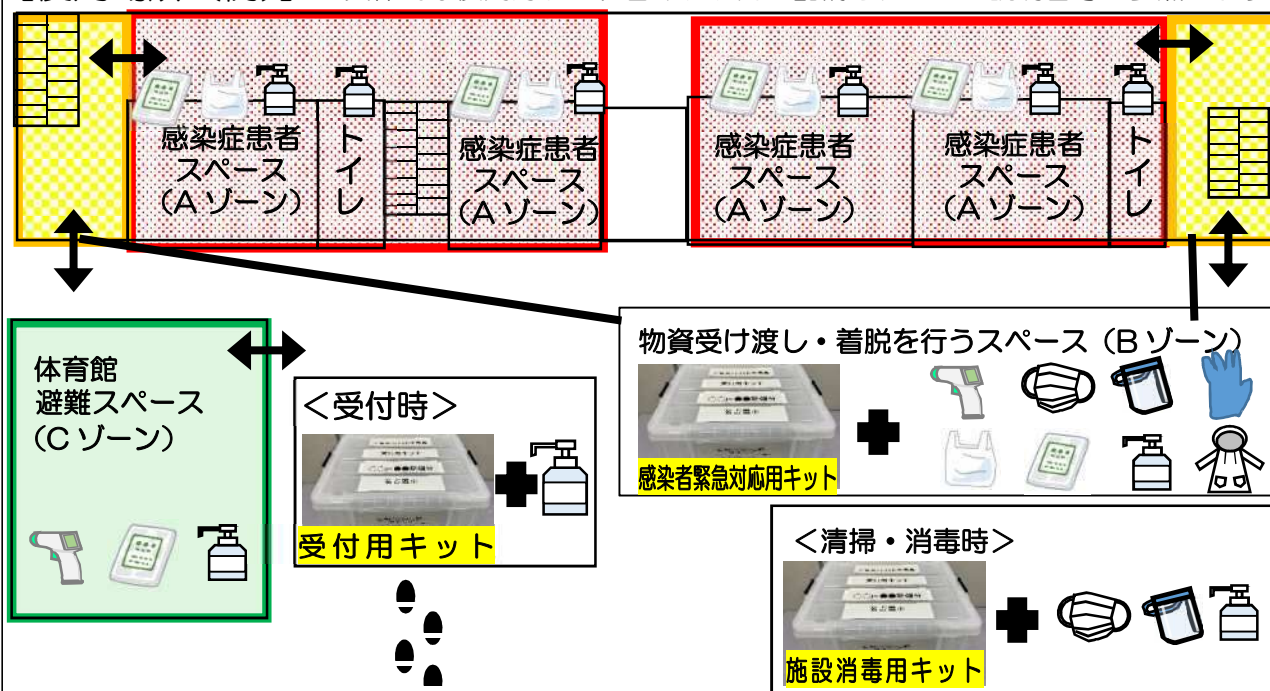
			
塩素系漂白剤	ペーパータオル	使い捨て手袋	ポリ袋
			
ごみ袋（可燃）	レインコート		

○感染者緊急対応用キット：避難者の容体が急変した際など、緊急対応に必要なものが入っています。※市立小中学校のみ

		
アイソレーションガウン	N95 マスク	養生テープ（緑）

○ 使用の手順・注意点

【使用場所（例）】※具体的な使用方法は、各キット内に配備されている説明書等を参照します



【配備数量】

種 別	品 目	数 量	
		市立小中学校	市立小中学校以外
受付用キット	非接触式検温器	5個	3個
	使い捨てマスク（50枚入り） （スタッフ用）	1箱	
	フェイスシールド	15個	9個
	使い捨て手袋（50双入り）	1箱	1箱
	養生テープ（赤・黄・緑）	各5巻	
	ポリ袋（50枚入り）	収容人数に応じて配備	
	名古屋市指定ごみ袋（可燃・不燃・資源）（10枚入り）	各5袋	各3袋
	マニュアル及び説明書関係	一式	
避難者全員用 キット①	使い捨てマスク（50枚入り） （避難者用）	収容人数に応じて配備 （市立小中学校へは小人用を1箱配備）	
避難者全員用 キット②	手指消毒液	収容人数に応じて配備	
施設消毒用 キット	塩素系漂白剤	5本	3本
	ペーパータオル（200枚入り）	15箱	9箱
	使い捨て手袋（50双入り）	5箱	3箱
	ポリ袋（100枚入り）	5袋	3袋
	名古屋市指定ごみ袋（可燃） （10枚入り）	5袋	3袋
	レインコート	15着	9着
	説明書関係	一式	
感染者緊急 対応用キット （市立小中学校のみ）	アイソレーションガウン	4着	-
	N95マスク	10枚	-
	養生テープ	1巻	-
	説明書関係	一式	

2 段ボールベッド・簡易ベッド・パーティション

○ 導入の趣旨

高齢者や基礎疾患がある方は新型コロナウイルス感染症で重症化の傾向があるとされているため、福祉避難スペースが確保できない場合や要配慮者の人数が多い場合に段ボールベッド・簡易ベッド・パーティションを活用することで、要配慮者への感染を防ぎます。

☆段ボールベッド・・・本市備蓄倉庫、各区役所に配備

☆簡易ベッド・・・・・・本市備蓄倉庫、市立小中学校に配備

☆パーティション・・・・本市備蓄倉庫、各区役所、市立小中学校に配備

☆大規模災害発生時には、避難所環境を改善するため、段ボールベッドの供給協定を結んでいます。

○ 使用想定

避難生活における新型コロナウイルスなどの感染症対策として要配慮者が使用します。

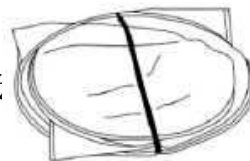
○ 配備物品一覧

【段ボールベッド】



- ・ハニー段ベッド… 2 枚
- ・アルミ遮熱シート… 1 枚
- ・パーティション… 1 枚

【パーティション】



- ・パーティション… 1 個
- ・マット… 1 枚

【簡易ベッド】



- ・簡易ベッド… 1 式

○ 使用の手順・注意点

【段ボールベッド】



① 弁ロックを下折にする

② 左右のフラップを折る

③ 弁ロックを下折にする

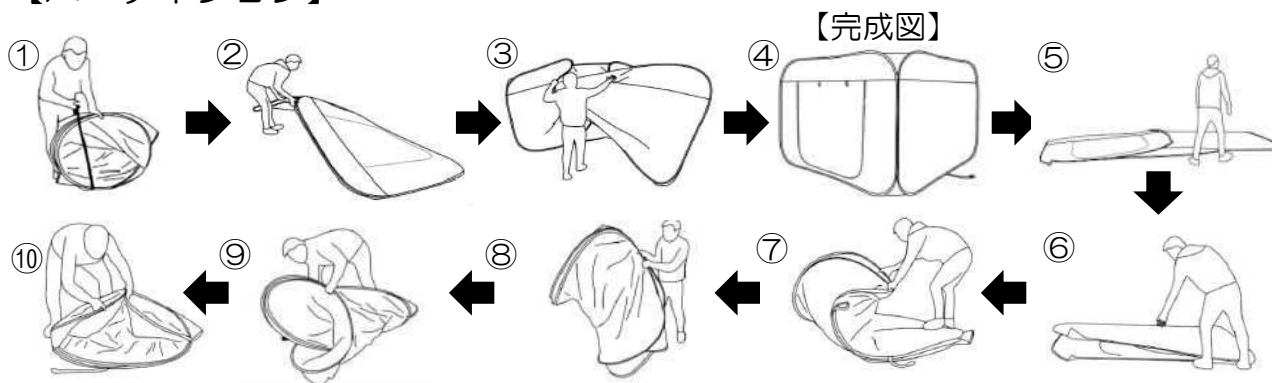
④ ①で下折にした
弁ロックを上に戻す

⑤ 側面のマジックテープを
張り合わせる

⑥ アルミ遮熱シートを敷き
パーティションで囲う

【完成図】

【パーティション】



＜組み立て＞①～②パーティションを長方形の形に広げる

③～④中心ワイヤーの上部を持ち、引き上げてパーティションを立ち上げる

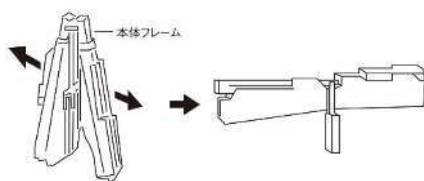
＜収納＞⑤ 互いの角を押し、パーティションを平らな長方形にして置く

⑥～⑦さらに半分に折り、対角線上のワイヤーを掴み折り畳む

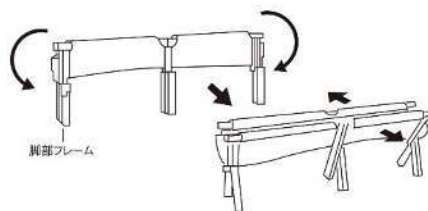
⑧～⑩上部を下に押し下げ3つの輪に折り、すべての円を重ね、収納する

【簡易ベッド】

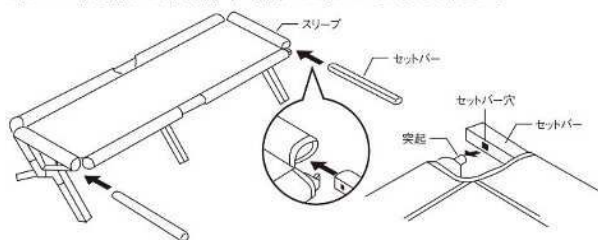
1. 平坦な場所を選んで本体フレームが一直線になるまで開いてください。



2. 両端の脚部フレームを中央の脚部フレームと並行になる位置まで回転させてから、本体フレームを開いてください。



3. シート両端のスリーブにセットバーを通し、本体フレーム先端の突起にセットバーの穴を合わせて、片側（1本目）のセットバーをセットしてください。



4. 本製品は性質上、(生地) がきつめになっております。
2 本目のセットバーをセットする際は、①～②の手順で行なってください。

①セットバーの両先端をもってシートを手前に引き、セットバーの穴を下向きにした状態で本体フレームの先端に引っ掛けてください。

②本体フレーム先端の突起とセットバーの穴の位置を合わせながら、セットバーを下方向に回すようにセットしてください。



災害用公衆無線LANアクセスポイント等資材

○ 導入の趣旨

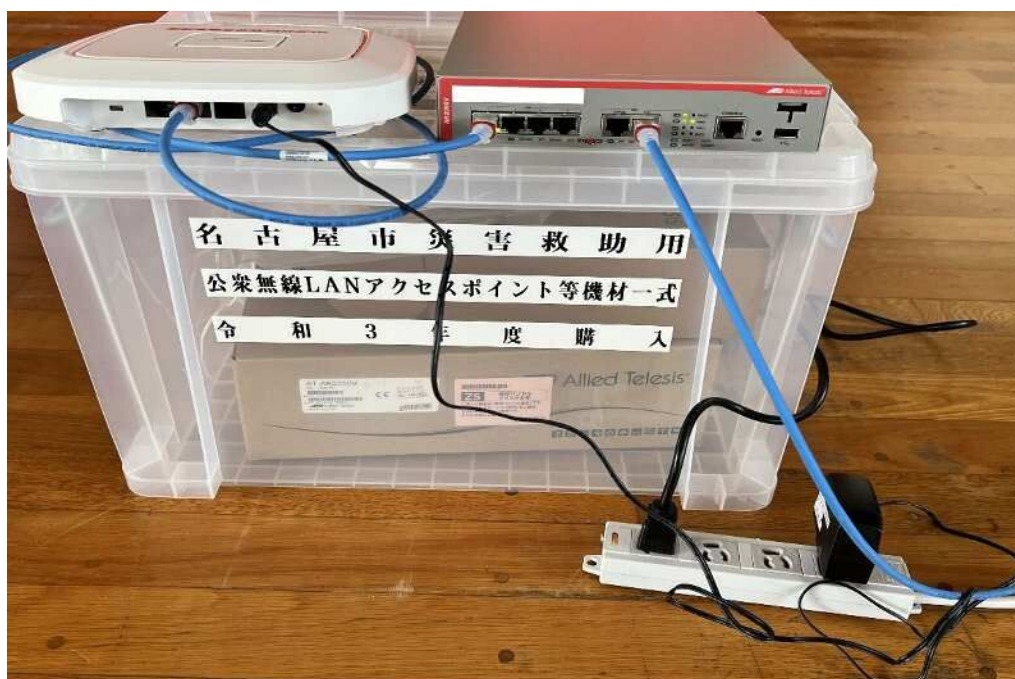
災害時に避難者に対して、Wi-Fi 環境を利用し、携帯端末等で情報収集や安否確認等を行えるよう、主要な避難所となる市立小中学校に配備しています。

○ 使用想定

- ・災害情報等の収集や安否確認等を行う際に使用します。

○ 配備物品一覧

【外観】



【中身】



無線ルータ
(電源ケーブル付属)



アクセスポイント
(AC アダプタ付属)



OA タップ



LAN ケーブル×2 個

○ 使用の手順・注意点

1. 容器から資機材を取り出す。(計 4 種類)



2. 資材を設置する。(以下 4 手順)

① 情報コンセントと無線ルータ(ETH1)を長い LAN ケーブルでつなぐ。

※情報コンセントが既に使用されている場合があります。LAN ケーブルを差し替えてください。



情報コンセント



無線ルータ (ETH1)

② 無線ルータ(LAN ポート) とアクセスポイント(LAN ポート) を短い LAN ケーブルでつなぐ。

※誤って LAN ポートと情報コンセントを直接接続しないでください。

通信障害が発生します。



無線ルータ (LAN ポート)



アクセスポイント (LAN ポート)

③ 無線ルータと付属の電源ケーブルをつなぎ、無線ルータの電源を入れる。



無線ルータ



電源ケーブル (OA タップと接続)



無線ルータが点灯

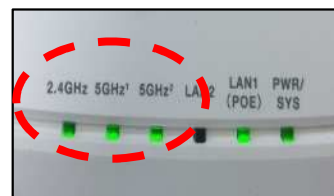
④ アクセスポイントと付属の AC アダプタをつなぎ、アクセスポイントの電源を入れる。



アクセスポイント



AC アダプタ (OA タップと接続)



アクセスポイントが点灯

名古屋市 防災危機管理局 地域防災課

〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目 1 番 1 号

TEL 052-972-3591 FAX 052-962-4030

令和 6 年 4 月発行